



子どもの通学拒否を考えよう

夏休み後にお子さんの学校通いが再開するに際し、通学をためらう子どもの問題が毎年大きな課題になっているようです。※

※柏市教育委員会職員の話当会が非公式にヒアリングしたところによる。

新学期にて新たな勉強や学校での活動が始まります。同時に、夏休み明けに児童や生徒が不登校になるケースが毎年多くなっている傾向がこの時期で学校の抱える課題にもなっているようです。その背景や理由としては以下のようなことが考えられます（※）。

その① お子さんに息切れ／エネルギー切れとなってしまう

一学期の学校での活動は、授業や部活、生徒会活動、運動会や遠足などの行事で、お子さんは気づかぬうちに、独自の緊張感の中で、息切れが起きます。それがなくなる夏休みを経て、本来はそのエネルギー充電期間であるはずが、充電できずに新学期を迎えることとなります。

その② 学校での負担感の発生

上記①にも重なりますが、勉強や部活から夏休み期間に離れることで、その負担感を実感し、学校自体への抵抗感が生まれてしまいます。

その③ 生活のリズムの乱れ

いうまでもなく、夏休みの過ごし方次第で「早寝早起き」の習慣を忘れ、朝なかなか起きられない、夜も眠れないことが新学期に大きな負担となってしまいます。



その④ 宿題・課題ができていない

上記③を解消するため、学校が児童・生徒に与える宿題や課題は、それをまったくこなしていないことで、保護者や先生から叱られることのプレッシャーが襲ってきます。夏休み明けのテストへの負担感も沸きあがってくることもあります。

その⑤ 新学期の学校生活が憂鬱に感じる

当然学校では、勉強や部活の内容は一学期のレベルと同じことを行うわけではないので、より難しい内容を学ぶことに憂鬱になる子どももいます。

その⑥ 人間関係で不安定になる

1学期に仲が良かった友人も、夏休み期間中にお互いに会っていないことで、人間関係がリセットされてしまう感情になり、おのずと学校に足を向けることに躊躇(ちゅうちょ)が生まれてしまいます。

(※) 複数のインターネットでの関連情報を基に作成しました。

その⑦ もしかすると、イジメなんかありませんか？（7/23のNHKの番組を参考にしました）

1学期にクラスの他の生徒からいじめやそれに類する行為を受ける者になっている場合、当然お子さんは学校に行くことに抵抗を示します。そうしたことの予兆などを保護者の皆さんは見過ごしていませんか？ 先ずは学校に相談することが何よりですが、意外にも学校側はそうしたことに逆に抵抗を示す（学校でいじめが発生している事実を認めることへの組織上の抵抗感）ことが往々にしてあります。但し、柏市の教育現場がそうした環境下にありがちであるか否か等の現状は未確認です。以下は、その予兆を見つけるためのチェックリストにつき、公表されている東京都教育委員会資料を抜粋しました。

いじめ発見のチェックシート	
1 表情・態度	
<input type="checkbox"/> 笑顔が無く沈んでいる。	<input type="checkbox"/> ぼんやりとしていることが多い。
<input type="checkbox"/> 視線をそらし、合わそうとしない	<input type="checkbox"/> わざとらしくはしゃいでいる。
<input type="checkbox"/> 表情がさえず、ふさぎ込んで元気がない。	<input type="checkbox"/> 周りの様子を気にし、おすおすとしている。
<input type="checkbox"/> 感情の起伏が激しい。	<input type="checkbox"/> いつも一人ぼっちである。
2 身体・服装	
<input type="checkbox"/> 体に原因が不明の傷などがある。	<input type="checkbox"/> けがの ^{数回} 原因を曖昧にする。
<input type="checkbox"/> 顔色が悪く、活気がない。	<input type="checkbox"/> 登校時に、体の不調を訴える。
<input type="checkbox"/> 寝不足等で顔がむくんでいる。	<input type="checkbox"/> ボタンが取れていたり、ポケットが破けたりしている。
<input type="checkbox"/> シャツやズボンが汚れたり、破けたりしている。	<input type="checkbox"/> 服に靴の跡が付いている。
3 持ち物・金銭	
<input type="checkbox"/> かばんや筆箱等が隠される。	<input type="checkbox"/> ノートや教科書に落書きがある。
<input type="checkbox"/> 机や椅子が傷付けられたり、落書きされていたりする。	<input type="checkbox"/> 作品や掲示物にいたずらされる。
<input type="checkbox"/> 靴や上履きが隠されたり、いたずらされたりする。	<input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持っている。
4 言葉・行動	
<input type="checkbox"/> 他の子供から言葉掛けを全くされていない。	<input type="checkbox"/> いつもぼつんと一人でいたり、泣いていたりする。
<input type="checkbox"/> 登校を渋ったり、忘れ物が急に多くなったりする。	<input type="checkbox"/> 教室にいつも遅れて入ってくる。
<input type="checkbox"/> 職員室や保健室の付近でうろろしている。	<input type="checkbox"/> いつも人の嫌がる仕事をしている。
<input type="checkbox"/> すぐに保健室に行きたがる。	<input type="checkbox"/> 家から金品を持ち出す。
<input type="checkbox"/> 不安げに携帯電話をいじったり、メールの着信や掲示板をチェックしたりしている。	
5 遊び・友人関係	
<input type="checkbox"/> いつも遊びの中に入れない。	<input type="checkbox"/> 友達から不快に思う呼び方をされている。
<input type="checkbox"/> 笑われたり冷やかされたりする。	<input type="checkbox"/> グループで行う作業の仲間に入れてもらえない。
<input type="checkbox"/> 特定のグループと常に行動を共にする。	<input type="checkbox"/> 遊びの中で常に嫌な役割を担わされている。
<input type="checkbox"/> よくけんかが起こる。	
<input type="checkbox"/> 付き合う友達が急に変わったり、教師が友達のことを聞くと嫌がる。	
<input type="checkbox"/> 他の人の持ち物を持たせられたり、使い走りをさせられたりする。	
6 教師との関係	
<input type="checkbox"/> 教師と視線を合わせなくなる。	<input type="checkbox"/> 教師との会話を避けるようになる。
<input type="checkbox"/> 教師と関わろうとしない、避けようとする。	

先ずは、無理にお子さんを学校に行かせようとはせず、本人のやる気やエネルギーの回復を気長に待つこと。学校に無理やり通わせる行為は、もしかすると**子どもから安心できる居場所や逃げ場所を奪うようなことになり**ます。そういった行為は、親や家族として決して取ってはいけません。焦らず、できることを取り組みましょう。学校復帰は本人の意思を最優先させましょう。

お子さんに寄り添ってあげましょう

